

大分県空き家利活用事例集





(R2.12 大分県 おおいた創生推進課作成)

目次









No	市町村	事業名	施設区分
①	大分市	大分市空き家等改修支援事業	福祉施設
②	別府市	別府市おためし移住施設整備事業(田の湯ベース)	ゲストハウス・宿泊施設
③	別府市	別府市鉄輪エリア駅店舗改修事業(a-side満寿屋)	コワーキングスペース
④	佐伯市	佐伯市空き家改修事業	一般住宅
⑤	佐伯市	佐伯市地域おこし協力隊起業・事業承継補助金	ゲストハウス・宿泊施設
⑥	臼杵市	臼杵市空き家改修事業	カフェ・飲食店
⑦	臼杵市	大分県移住者店舗等開設支援事業	カフェ・飲食店
⑧	豊後高田市	空き家リユース拠点施設整備事業	地域コミュニティ施設
⑨	杵築市	杵築市移住パッケージ(空き施設改修)事業	ゲストハウス・宿泊施設
⑩	杵築市	旧野上家整備事業	観光拠点施設
⑪	宇佐市	うさ暮らし定住支援事業(空き家改修事業・起業支援事業)	カフェ・飲食店
⑫	玖珠町	旧森南部精米所改修事業	観光拠点施設

事業名	大分市空家等改修支援事業		市町村	大分市	利活用区分	福祉施設												
<p>○事業概要・目的</p> <p>H31年、三佐地区にある築20年の空き家（旧居宅：木造平屋建て）を改修し障害者自立訓練（生活訓練）サービス事業施設を整備した。三佐地区で障害者施設を運営し、同時に周囲の住民にも施設を開放し、健常者と障害者との積極的な交流を持ち、地域活性化の一助になれるよう活動を展開している。</p> <p>○経緯</p> <p>R元年6月：運営団体から空き家の利活用について相談 R元年7月：申請受付 R元年7月17日：工事着手 R元年9月30日：工事完了 R元年10月1日：障害者施設開業</p> <p>○活用・事業内容</p> <p>外装・基礎部分は保存状態がよく、ほとんど手を加えていない。そのため外装の写真は無い。内装部分と設備部分の改修・整備を行った。</p> <p>共通仮設工事（170,000円）、建設工事（7,256,850円）、給排水衛生設備工事（2,311,000円）、空調設備工事（650,000円） 電気工事（921,000円）、設計費（500,000円）、現場管理費・一般管理費（1,400,000円）</p>			BEFORE															
																		
			AFTER															
																		
活用事業	空き家対策総合支援事業	補助率	1/2															
<p>●補助事業概要</p> <p>大分市空家等改修支援事業</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>14,256,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実施主体自己負担額</td> <td>13,256,000円</td> <td>(92%)</td> </tr> <tr> <td>国補助額</td> <td>500,000円</td> <td>(4%)</td> </tr> <tr> <td>市補助額</td> <td>500,000円</td> <td>(4%)</td> </tr> </table>							総事業費	14,256,000円		実施主体自己負担額	13,256,000円	(92%)	国補助額	500,000円	(4%)	市補助額	500,000円	(4%)
総事業費	14,256,000円																	
実施主体自己負担額	13,256,000円	(92%)																
国補助額	500,000円	(4%)																
市補助額	500,000円	(4%)																
HP・URL	https://www.city.oita.oita.jp/kurashi/sumaijoho/akivataisaku/index.html			見学・訪問可能	見学・訪問希望の場合は大分市住宅課までご連絡ください。													

事業名	別府市おためし移住施設整備事業(田の湯ベース)	市町村	別府市	利活用区分	ゲストハウス・宿泊施設						
<p>○事業概要・目的 別府市に移住定住を希望する世帯に対して、短期居住施設を提供し、別府の気候風土、町並み、景観等を体験していただくため借り上げ民間住宅の整備を行った。</p> <p>○経緯 H30年8月：空き店舗等活用可能性検討調査 H30年10月22日：工事着手 H31年1月31日：工事完了 H31年4月：田の湯ベース開始</p> <p>○活用・事業内容 既存を生かした外観とする。別府石の塀・アプローチはそのまま生かす。室内は開放的なゆったりと過ごせる空間とする。 外部改修工事（600,000円）、浴室改修工事（720,000円）、玄関改修工事（430,000円）、内装工事（4,345,000円）、外構工事（550,000円）</p> <p>○課題・今後の予定 新型コロナウイルスの影響もあり、利用者が減少している。 今後、ワーケーションの受け入れについても検討を行っていく必要があると思われる。</p>		BEFORE									
											
<p>活用事業</p> <p>大分県おためし移住空き家改修事業</p> <p>補助率</p> <p>1/2</p>		AFTER									
<p>●補助事業概要 平成30年度大分県おためし移住空き家改修事業（県補助）</p> <table border="0"> <tr> <td>総事業費</td> <td>9,999,720円</td> </tr> <tr> <td>県補助金</td> <td>4,999,000円</td> </tr> <tr> <td>市補助金</td> <td>5,000,720円</td> </tr> </table>		総事業費	9,999,720円	県補助金	4,999,000円	市補助金	5,000,720円				
総事業費	9,999,720円										
県補助金	4,999,000円										
市補助金	5,000,720円										
HP・URL	https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/iivuu/fuomoon.html		見学・訪問可能	3泊以上12泊以内宿泊可能 利用申込の必要あり 公益社団法人 別府市シルバー人材センター TEL：0977-24-4080							





事業名	別府市鉄輪エリア空き店舗改修事業（ワークスペース「a side-満寿屋-」）	市町村	別府市	利活用区分	コワーキングスペース
<p>○事業概要・目的 鉄輪地域で企業と起業家、起業家と学生などが結びつく場（コワーキングスペース）を提供し、新たな人の流れをつくり、市内のイノベーションを起こしていく事を目的としています。また、新しい働き方の提案として、都市部企業等にワーケーションの場としても利用してもらい、新潟治文化の形成を図ることも目的とします。</p> <p>○経緯 H30年6月27日～7月25日：第1回～第3回「鉄輪妄想会議」 H30年11月：プロポーザルにて事業内容決定 H30年11月：工事着手 H31年3月：工事完成 H31年4月：コワーキングスペース「a side-満寿屋-」開始</p> <p>○活用・事業内容 既存の趣ある部分はそのまま活かし、内装改修、外壁改修、簡易キッチンの設置、wifi環境の整備等を行う。 事業費（11,565,720円）</p> <p>○課題・今後の予定 取容人数の少なさやウェブ会議に対応できる個室空間への対応などの課題はあるものの、多くの公衆浴場に囲まれ、“温泉×仕事”の相性の良さを体感できる別府ならではのコワーキングスペースとして情報発信に注力していく。 今後さらに利用者を増やし、「a side-満寿屋-」を拠点に関係人口を増やし、イノベーションにつながる場として価値を高めたい。</p>		BEFORE			
					
		AFTER			
					
活用事業			補助率		
HP・URL	https://1side.jp/		見学・訪問可能	a side -満寿屋- TEL：0977-76-5234	※事前連絡の必要あり

事業名	佐伯市地域おこし協力隊起業・事業承継補助金	市町村	佐伯市	利活用区分	ゲストハウス・宿泊施設				
<p>○事業概要・目的 佐伯市への定住及び地域の活性化を図るため、佐伯市地域おこし協力隊の起業又は事業承継に要する経費に対し、予算の範囲内において補助するもの</p> <p>○経緯 平成29年4月1日：佐伯市地域おこし協力隊として観光課に着任 令和岩年1月：事業計画作成、設計 令和元年2月～：資金調達（クラウドファンディング、日本政策金融公庫、当該補助金） 令和元年6月～：着工（途中、一般市民参加型のワークショップを数度導入） 令和元年10月：ゲストハウス「さんかくワサビ」オープン 令和2年3月：佐伯市地域おこし協力隊任期満了</p> <p>○活用・事業内容 佐伯市の中心市街地の飲み屋街の一角にある、1階は居酒屋の2階の空き家を、「投げ銭によるゲストハウス」として改修。 内装工事費：950万円 備品・消耗品購入：80万円 クラウドファンディング返礼品：50万円</p> <p>○課題・今後の予定 開業後10月からの約6カ月で133人150泊とまずまずの滑り出しであったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少につながっている。今後はコ・ワーキングスペースの機能もあることから、ワーケーション等の取組も行っていく。</p>		BEFORE							
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="136 986 235 1074">活用事業</td> <td data-bbox="235 986 725 1074">佐伯市地域おこし協力隊起業・事業承継補助金</td> <td data-bbox="725 986 824 1074">補助率</td> <td data-bbox="824 986 920 1074">4/5</td> </tr> </table>		活用事業	佐伯市地域おこし協力隊起業・事業承継補助金	補助率	4/5				
活用事業	佐伯市地域おこし協力隊起業・事業承継補助金	補助率	4/5						
<p>●補助事業概要 次に掲げる経費について、補助対象経費の4/5を補助 設備費、備品費又は土地・建物賃借料 法人登記に要する経費 知的財産登録に関する経費 マーケティングに要する経費 技術指導受入れに要する経費</p>		AFTER							
<p>HP・URL https://sankaku-wasabi.com/</p>		 <p style="text-align: right;">見学・訪問可能</p>							

事業名	佐伯市空き家改修事業		市町村	佐伯市	利活用区分	一般住宅
<p>○事業概要・目的 空き家バンクに登録された住宅について、移住者が佐伯市に定住するために必要な住宅を確保するために必要な経費の一部について補助するもの</p> <p>○経緯 平成30年10月：佐伯市空き家バンクに登録 令和2年10月：市外の方が購入し、改修中。</p> <p>○活用・事業内容 空き家バンク登録物件詳細 所在地：佐伯市直川 建物構造：木造瓦葺平屋建 延床面積：79.33 m² 敷地面積：450.74 m² 建築年：昭和8年建築（昭和51年改修） 売買価格：128万円（宅地、田、畑含む）</p> <p>○課題・今後の予定</p>			BEFORE			
			 		 	
			AFTER			
<p>活用事業</p> <p>ようこそ佐伯住まいるサポート事業（市補助、県外からの移住者に対しては、県1/2）</p> <p>補助率</p> <p>2/3</p>			  			
<p>●補助事業概要</p> <p>取得補助 上限50万円（補助率1/2）</p> <p>改修補助 上限100万円（補助率2/3）※取得と合わせて100万円が上限</p> <p>仲介手数料 上限5万円（補助率10/10）</p> <p>引っ越し 上限20万円（補助率2/3）</p> <p>家財処分 上限10万円（補助率10/10）</p>			<p>HP・URL</p> <p>見学・訪問可能 不可</p>			

事業名	白杵市空き家改修事業		市町村	白杵市	利活用区分	カフェ・飲食店
<p>○事業概要・目的</p> <p>自然に囲まれた藤河内地区において、空き家登録があり、レストラン開業を目指していた市外利用希望者とのマッチングを進め、レストラン開業による地域活性化のほか、子育て世代のため過疎地域の人口増にも繋がっている。</p> <p>○経緯</p> <p>H31年3月：市外からの利用希望者から相談「里山でフランス料理店を。」 H31年3月～5月：数件内覧するも契約希望なし H31年4月：所有者から相談、申込み（築41年母屋にみかん蔵、畑等が附帯） H31年5月：空き家バンク登録（No.200・藤河内）の完了 R1年6月：市外利用希望者がNo.200を内覧。契約希望あり。 R1年9月：母屋、みかん蔵の改修完了。 R1年10月：白杵市に移住。白杵の里山フレンチ「mikangura」オープン。</p> <p>○活用・事業内容</p> <p>住まいとしての母屋の改修と、店舗としての蔵の改修を実施。 【母屋】給排水：2,330千円、大工：1,196千円、塗装：256千円、電気：183千円 【蔵】給排水・電気：1,733千円、大工：3,343千円、浄化槽：922千円</p> <p>○課題・今後の予定</p> <p>細い坂道の上に位置しているため、物件に附帯した畑を駐車場として準備中。</p>			BEFORE			
						
<p>活用事業</p> <p>白杵市空き家改修事業補助金</p> <p>補助率 1/2</p>			AFTER			
<p>●補助事業概要</p> <p>白杵市空き家改修事業補助金 総事業費：10,055,059円 自己負担額：9,055,059円 市補助額：1,000,000円（補助率1/2・上限100万円）</p>						
HP・URL	<p>【facebook】 https://www.facebook.com/mikangura1008/ 【instagram】 https://www.instagram.com/mikangura/</p>			見学・訪問可能	<p>定休日 毎週水曜日 営業時間 ランチ 11:00～14:30 ディナー 17:30～21:00</p>	


事業名	大分県移住者店舗等開設支援事業		市町村	臼杵市	利活用区分	カフェ・飲食店							
<p>○事業概要・目的 県外からのUターン移住者が映画『なごり雪』の舞台にもなった城下町の古民家を再生し、4つの事業を展開。様々な目的で人が集まる場の提供、臼杵市の移住・観光情報等の発信も行っている。</p> <p>【事業】①整体&リフレクソロジー ②海外ビンテージ食器&ハンドメイド雑貨販売 ③民泊&観光業 ④ライター業</p> <p>○経緯 H30年2月：県外からUターン移住、古民家での開業相談あり。 H30年8月：臼杵市の移住ツアーに参加。古民家内覧。契約希望あり。 H30年12月：改修工事着工 H31年2月：改修工事完了 H31年2月：移住。店舗「臼杵 整体&リフレクソロジー ケレシュ」開設。</p> <p>○活用・事業内容 城下町にあった古民家を改修して店舗として活用。 改修費・設備費：1,717,083円</p> <p>○課題・今後の予定 コロナウイルス感染拡大による民泊&観光業への影響。</p>			BEFORE										
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="136 986 232 1070">活用事業</td> <td data-bbox="232 986 725 1070">大分県移住者店舗等開設支援事業</td> <td data-bbox="725 986 824 1070">補助率</td> <td data-bbox="824 986 920 1070">1/2</td> </tr> </table>			活用事業	大分県移住者店舗等開設支援事業	補助率	1/2	AFTER						
活用事業	大分県移住者店舗等開設支援事業	補助率	1/2										
<p>●補助事業概要 大分県移住者店舗等開設支援事業 総事業費：1,717,083円 自己負担額：859,083円 県補助額：429,000円（補助率1/4） 市補助額：429,000円（補助率1/4）</p>			<table border="1"> <tr> <td data-bbox="136 1362 331 1445">HP・URL</td> <td colspan="2" data-bbox="331 1362 1413 1445">https://usukiseitai.com/</td> <td data-bbox="1413 1362 1610 1445">見学・訪問可能</td> <td colspan="3" data-bbox="1610 1362 2101 1445">営業時間 月曜日～日曜日（不定休）</td> </tr> </table>				HP・URL	https://usukiseitai.com/		見学・訪問可能	営業時間 月曜日～日曜日（不定休）		
HP・URL	https://usukiseitai.com/		見学・訪問可能	営業時間 月曜日～日曜日（不定休）									

事業名	空き家リユース拠点施設整備事業	市町村	豊後高田市	利活用区分	地域コミュニティ施設
<p>○事業概要・目的</p> <p>H24年、野地地区にある空き家（木造平屋建て）を改修し集会所（地域拠点施設）を整備した。野地地区の憩いの空間として地域体操教室の開催などを計画。地域のコミュニティを維持する活動・地域の憩いの場として使用し、元気な集落でありつづけることを目指している。</p> <p>○経緯</p> <p>H24年：空き家リユース拠点施設整備事業補助金施工 H24年7月：市内来縄野地地区から空き家リユース拠点施設整備事業について相談 H24年7月17日：空き家リユース拠点施設整備事業補助金の申請 H24年7月23日：工事着手 H24年8月3日：工事完了 H24年9月4日：第1回 野地地区健康づくり教室開催</p> <p>○活用・事業内容</p> <p>外部は痛みのひどい部分を改修。和室二間をつないでフローリング、手すりの設置をし、地域の憩いの場として整備した。 内装工事（339,500円）、外部工事（114,000円）、給排水工事（18,000円）</p> <p>○課題・今後の予定</p> <p>今まで地区で行っていた行事後の話し合いをする場所ができた。自治会や老人会、小学生が、それぞれ計画をたてており、地域のコミュニティがとれる拠点施設としての役割を担ってきたい。</p>		BEFORE			
					
		AFTER			
活用事業			補助率		
					

事業名	杵築市移住パッケージ（空き施設改修）事業	市町村	杵築市	利活用区分	ゲストハウス・宿泊施設
<p>○事業概要・目的 H29年、東山香地区にある築150年の空き家（木造平屋建て）を改修し、移住用お試し住宅を準備した。東山香住民自治協議会が地区内に物件を調査し、所有者より居住から1年間の期限付きで無償による賃貸借の承諾を得て、改修、空き家バンクへの登録まで包括的に委託するもの。</p> <p>○経緯 H29年9月：東山香地区住民自治協議会から空き家改修事業について要望書提出 H29年12月7日：所有者からの建物賃貸承諾書提出 H29年12月15日：東山香地区住民自治協議会から空き家調査報告書提出 H29年12月23日：工事着手 H30年3月9日：工事完了 H30年春全国から本の寄贈を募り、地域の集いの場として「山香文庫」をオープン R元年9月頃：農泊業務開始</p> <p>○活用・事業内容 物件は、相続人により定期的に清掃管理が行われ比較的大きな損傷はなかったが、長い間使用のなかった台所、トイレなどの水回りと、縁側、洋室の床材の損傷などの改修・整備を行った。できる限り古民家の雰囲気を残し、住宅部分を整備した。 内装工事（1,110,910円）、外装屋根工事（8,100円）、 トイレ改修（781,660円）</p> <p>○課題・今後の予定 地域の方々の助けを借りながら、よりにぎやかな場所へ／食べものの公園づくり</p>		BEFORE			
					
<p>活用事業</p>		地方創生交付金（総務省）	補助率	1/2	
<p>●補助事業概要 杵築市移住パッケージ空き施設改修委託業務 委託費（改修工事分1,900,670円＋事務費32,400円）×1/2≒966,000円 総事業費 1,933,070円 国補助額 966,000円（1/2） 市補助額 967,070円（1/2）</p>		 			
<p>HP・URL https://www.yamagabunko.com/</p>		<p>見学・訪問可能</p>		<p>見学可能 事前連絡の必要あり TEL：090-6837-1093</p>	

事業名	旧野上家整備事業		市町村	杵築市	利活用区分	観光拠点施設						
<p>○事業概要・目的</p> <p>杵築市魚町区にある旧野上家は周防屋旅館として利用されていたが、空き家となっていた。所有者から杵築市へ寄附を受けた後、当該地区の景観の改善と城下町観光ルートの拠点として日本庭園を眺めることができる休憩所等として利活用することを目的に、既存建築物の木材等を再利用する建築方法で整備した。</p> <p>○経緯</p> <p>H26年12月：所有者から寄附を受ける</p> <p>H27年：「庭園」の調査を実施 学識経験者の調査により、東森堂氏の造庭であることが判明</p> <p>H28年：「建物」の調査を実施 大正時代から増改築が繰り返されていたが、耐震や建材の状況から平屋を後世に残す方針を決定</p> <p>H29年：建設工事設計と解体工事実施</p> <p>R1年：解体時に回収した建材を利用する平屋の建築に着手</p> <p>R2年10月：完成</p> <p>○活用・事業内容</p> <p>旧野上家を解体する際、古材として利用できる部分（特徴的な屋根瓦や欄間、木材等）を保存し、再建する際に活用し整備を行った。</p> <p>○課題・今後の予定</p> <p>今後は「庭園」を眺めることができる杵築市観光ルート拠点交流施設として活用していく予定。杵築市観光協会と連携し、より良い観光交流施設となるよう地域と民間と観光客をつなぐ仕組みづくりを検討する。</p>			BEFORE									
												
<p>活用事業</p> <p>空き家対策総合支援事業 (国交省補助金)</p> <p>補助率 1/2</p>			AFTER									
<p>●補助事業概要</p> <p>空き家対策総合支援事業（国交省補助金）</p> <table border="0" data-bbox="174 1145 649 1273"> <tr> <td>総事業費</td> <td>53,814千円</td> </tr> <tr> <td>国補助額</td> <td>15,521千円</td> </tr> <tr> <td>実施主体自己負担額</td> <td>38,293千円</td> </tr> </table> <p>※補助対象事業費のみで記載</p>			総事業費	53,814千円	国補助額	15,521千円	実施主体自己負担額	38,293千円				
総事業費	53,814千円											
国補助額	15,521千円											
実施主体自己負担額	38,293千円											
HP・URL	準備中			見学・訪問可能	外構や周辺が工事中であるため、事前連絡必要 杵築市商工観光課 TEL:0978-62-1808							

事業名	うさ暮らし定住支援事業（空き家改修事業・起業支援事業）	市町村	宇佐市	利活用区分	カフェ・飲食店				
<p>○事業概要・目的 令和元年度、宇佐市八幡地区にある築80年の空き家バンク登録物件（木造平屋）を購入しを住居兼店舗（飲食店）としてを改修整備を行う。</p> <p>○経緯 令和2年7月 移住者（市外）から空き家バンク物件の利活用について相談 令和2年8月 うさ暮らし定住支援事業補助金を申請 令和2年8月7日 : 工事着手 令和2年10月 1日 : 工事完了 令和2年10月10日 : 飲食店開業【自然派カフェレスト 鈴ご（りんご）】</p> <p>○活用・事業内容 屋根・外装にはほとんど手を加えていない。内装部分と設備部分の改修・整備を行った。できる限り古民家の雰囲気を残し、飲食店として改修した。 住居改修工事（洗面台・浴槽・畳替え等）（1,430,000円） 起業改修工事（厨房設備・店舗用改装・空調設備等）（1,869,230円）</p> <p>○課題・今後の予定 外構や駐車場等の整備が必要。</p>		BEFORE							
									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">活用 事業</td> <td style="width: 60%; text-align: center;">うさ暮らし定住支援事業</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">補助率</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">2/3 1/2</td> </tr> </table>		活用 事業	うさ暮らし定住支援事業	補助率	2/3 1/2	AFTER			
活用 事業	うさ暮らし定住支援事業	補助率	2/3 1/2						
<p>●補助事業概要 うさ暮らし定住支援事業（市補助） 総事業費 3,299,230円 空き家改修事業費 1,430,000円（2/3補助）上限50万円 起業支援事業費 1,869,230円（1/2補助）上限50万円</p> <p>市補助金額 1,000,000円 実施主体自己負担額 2,299,230円</p>									
HP・URL	http://www.caferest-ringo.com/index.html			見学・訪問可能					

事業名	旧森南部精米所改修事業			市町村名	玖珠町	利活用区分	観光拠点施設
<p>○事業概要・目的</p> <p>H26年、帆足地区の旧豊後森機関庫に隣接する、機関庫と同年代に建設された精米所跡地を周辺景観維持の目的により町が取得。（昭和9年建設の米貯蔵倉庫、2棟：木造平屋建て）施設を1棟改修（1棟は解体の上新築）し観光拠点施設を整備した。既存施設は大分市の社会福祉法人に無償譲渡し日本財団の助成を受け、障がい者就労支援施設として、多目的ホール、カフェとして運営し、観光周遊の拠点となる施設を目指している。</p> <p>○経緯</p> <p>H26年3月：豊後森機関庫公園の周辺景観維持のため玖珠町が取得 H26年8月：集客力向上のため、飲食を行える利活用方法について検討開始 H27年1月：福祉と観光のコラボレーションによる地方創生モデル事業として、日本財団、社会福祉法人と事業計画構築開始 H28年2月：日本財団からの助成決定 H29年9月：工事着手 H30年3月：工事完了 H30年6月：施設開業</p> <p>○活用・事業内容</p> <p>外装・基礎部分は保存状態が悪く、一旦解体の上、耐震補強を行ったが、建設部材を防腐の上再利用し、当時の雰囲気を残している。できる限り古民家の雰囲気を残し、昭和のノスタルジーを残した建物としている。</p> <p>○課題・今後の予定</p> <p>オープンと同時に多くの方の来場があったが、障がい者就労支援施設としての目標売上額に到達していないことから、官公需を含め、はたらく障害のある方々の工賃向上を目指し、障がいのある方々が望めば玖珠町で過ごし続ける環境を確立したい。 観光拠点としての役割については一定の成果が出てきている。</p>				BEFORE			
							
				AFTER			
							
<p>活用事業</p>	<p>日本財団「はたらく！NIPPON計画」助成金</p>	<p>補助率</p>	<p>定額</p>				
<p>●補助事業概要</p> <p>民間事業により、非公表</p>							
<p>HP・URL</p>	<p>なし</p>			<p>見学・訪問可能</p>	<p>平日9：00～16：00まで見学可能 事前連絡の必要あり TEL：097-524-2424</p>		